# 第２期調布市不登校児童生徒への支援プラン　概要版

## 1　策定の経緯

調布市教育委員会では、「こども一人一人を大切にする教育の実現」を目指し、令和６年度から令和８年度までを計画期間とする「調布市不登校児童・生徒への支援プラン」を策定し、不登校の未然防止や早期支援、多様な学びの機会や居場所の確保、社会的自立に向けた支援など、様々な取組を進めてきました。

一方、不登校児童生徒数は増加傾向にあり、その背景や要因は一人一人異なることから、それぞれの状況に応じた支援が求められています。

こうした状況を踏まえ、不登校の未然防止や早期支援、一人一人の状況に応じた多様な学びの保障、保護者への支援、地域や関係機関との連携などを一層充実させるため、「第２期調布市不登校児童生徒への支援プラン」を策定します。

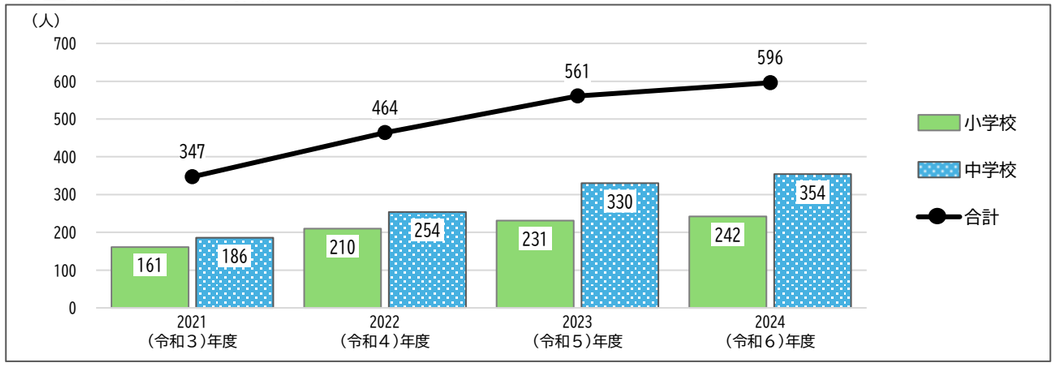
## 2　各計画等との関係

| 年度 | 2023 R5 | 2024 R6 | 2025 R7 | 2026 R8 | 2027 R9 | 2028 R10 | 2029 R11 | 2030 R12 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 調布市基本計画 | 前期基本計画 | | | | 次期計画期間 | | | |
| 調布市教育プラン | 第４期　教育プラン | | | | 次期計画期間 | | | |
| 調布市不登校児童生徒への支援プラン | | 第１期計画 | | | 次期計画期間 | | | |

計画期間：令和９年度から令和１２年度までの４年間

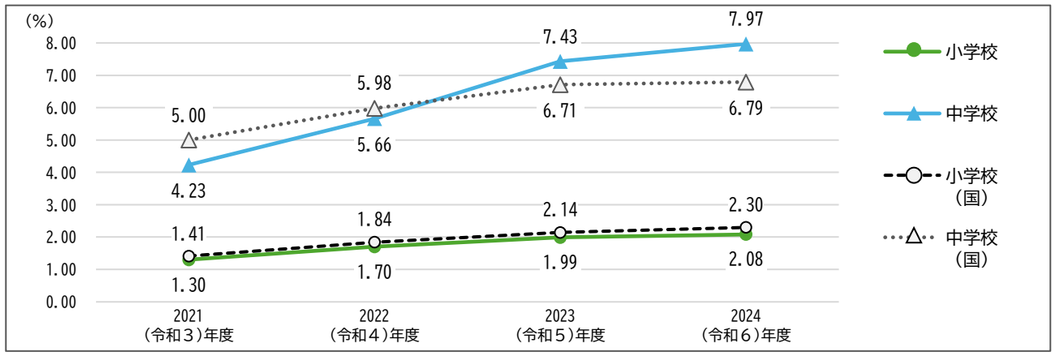
## 3　不登校児童生徒数の推移、不登校出現率

■不登校児童生徒数の推移




出典：指導室

■不登校出現率（在籍児童生徒に占める不登校児童生徒の割合）




出典：文部科学省「令和６年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」及び指導室

## 4　第２期計画の策定の目的、基本理念

### 策定の目的

不登校は、様々な要因・背景によって生じるものであり、不登校というだけで「問題行動」と捉えるべきものではなく、どの児童生徒にも起こり得るものです。加えて、支援に当たっては、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要があります。

本プランでは、全ての児童生徒が安心して教育を受けることができ、一人一人の意思や状況に応じて、安心できる人や場所につながり、学びたいと思ったときに自分に合った方法で学ぶことができる環境を整えることを目指します。

また、学校・家庭・地域・関係機関が連携し、児童生徒一人一人の状況に応じた支援を行うことで、社会的自立につなげていきます。

### 基本理念

全ての児童生徒が、安心して教育を受けることができるようにします
全ての児童生徒が、学びたいと思ったときに学べる環境を整えます
多くの大人が関わって、児童生徒の社会的自立を支えます

## 5　第２期計画の基本方針

### 学校づくり

**基本方針１　魅力ある学校づくりを推進します**
**（児童生徒が安心して過ごすための支援）**



全ての児童生徒が安心して過ごし、自分らしく学ぶことのできる学校づくりを進め、一人一人が大切にされる環境や、児童生徒同士や教職員とのつながりを育みます。

施策１　安心して学び、過ごせる学校づくりの推進
施策２　児童生徒の主体性とつながりを育む「絆づくり」の充実

### 早期把握・個別支援

**基本方針２　個に応じたきめ細かな支援を行います**
**（状況の早期把握と一人一人に応じた支援）**



児童生徒の意思や状態を早期に把握し、多様な学びの機会や居場所を確保しながら、一人一人に応じた支援を進めます。

施策３　児童生徒の意思と状態に寄り添った支援の充実
施策４　多様で柔軟な学びの機会や居場所の確保と学びの保障

### 社会的自立・連携

**基本方針３　社会的自立に向けた支援を推進します**
**（精神的にも経済的にも自立し、豊かな人生を送るための支援）**



在学中だけでなく卒業後も見据え、保護者や地域、関係機関と連携し、社会的自立に向けた切れ目のない支援を進めます。

施策５　保護者への支援と地域とのつながりの充実
施策６　関係機関との連携による切れ目のない支援の充実

# 「調布市不登校児童生徒への支援プラン　～誰かとつながる、どこかでつながる、いつでもつながる多様な学びの機会の充実を目指して～」概要

**理念**

全ての児童生徒が、安心して教育を受けることができるようにします
全ての児童生徒が、学びたいと思ったときに学べる環境を整えます
多くの大人が関わって、児童生徒の社会的な自立を支えます

| 基本方針 | 施策 | 主な取組（★印については新規の取組） |
|---|---|---|
| **基本方針 1**<br>魅力ある学校づくりを推進します<br>（児童生徒が安心して過ごすための支援） | 【施策】1<br>安心して学び、過ごせる学校づくりの推進 | 1　一人一人が安心して参加し、学ぶ楽しさを実感できる授業の充実<br>2　児童生徒一人一人の個性や能力を伸ばす教育活動の充実<br>3　障害や国籍、言語等の多様性を尊重し、一人一人の個性や考えを認め合う意識の醸成<br>4　児童生徒のウェルビーイングの向上を目指した安心して学び、過ごせる学校風土の醸成 |
| | 【施策】2<br>児童生徒の主体性とつながりを育む「絆づくり」の充実 | 5　児童生徒一人一人の多様な学びの機会の充実<br>6　児童生徒が主体的に選択し、考え、取り組むことのできる体験活動の充実<br>7　互いを尊重し、安心して関わることのできる人間関係づくりの充実<br>8　教職員の不登校への理解と一人一人に応じた支援に関する専門性の向上 |
| **基本方針 2**<br>個に応じたきめ細かな支援を行います<br>（状況の早期把握と一人一人に応じた支援） | 【施策】3<br>児童生徒の意思と状態に寄り添った支援の充実 | 9　児童生徒の声を聴き、支援に生かす取組の充実<br>10　児童生徒の心身の状況の把握と早期支援の充実<br>11　一人一人の状態に応じた、学びを支える伴走支援の充実　★<br>12　一人一人の意思や状況を踏まえた個別の支援計画の作成・活用　★<br>13　「チーム学校」による組織的な支援体制の充実<br>14　校内教育支援センター（校内別室）の機能と支援体制の充実 |
| | 【施策】4<br>多様で柔軟な学びの機会や居場所の確保と学びの保障 | 15　学びの多様化学校分教室　第七中学校「はしうち教室」の指導の充実と、将来的な分校化に向けた検討<br>16　教育支援センター「太陽の子」「ＣＡＮＶＡＳ」における支援の充実<br>17　訪問型支援「みらい」における支援の充実<br>18　不登校児童生徒支援プロジェクト「ＳＷＩＴＣＨ」の充実<br>19　チャレンジクラス（不登校対応校内分教室）の設置に向けた検討　★<br>20　【再掲】校内教育支援センター（校内別室）の機能と支援体制の充実　★ |
| **基本方針 3**<br>社会的自立に向けた支援を推進します<br>（精神的にも経済的にも自立し、豊かな人生を送るための支援） | 【施策】5<br>保護者への支援と地域とのつながりの充実 | 21　不登校や登校への不安等のある児童生徒及びその保護者への相談体制の充実<br>22　コミュニティ・スクールの仕組みを活用した学校と保護者・地域との連携強化<br>23　進路相談、進路説明会、学校に行きづらい子どもの保護者の集い等の充実<br>24　児童生徒及び保護者への多様な学びや支援に関する情報提供の充実　★<br>25　地域における多様な体験・交流の機会や人とのつながりの充実　★ |
| | 【施策】6<br>関係機関との連携による切れ目のない支援の充実 | 26　教育支援会議の充実による関係機関との情報共有及び連携の強化<br>27　スクールソーシャルワーカーの全校配置による相談・支援の充実<br>28　「不登校に係る支援委員会」の充実と教職員等への相談・助言の充実<br>29　保健・福祉・医療等の関係機関及び民間施設・団体との連携の強化<br>30　義務教育終了後も見据えた「調布市子ども・若者支援地域ネットワーク」との連携の強化<br>31　「不登校施策に係る検討委員会」による取組状況の検証と施策の改善 |